

☆新しい☆超速効型インスリンのご紹介

こんにちは。たかベクリニックです！今回は、昨年相次いで発売開始になった新しい超速効型インスリン製剤についてご紹介させていただきたいと思います。今すでに超速効型インスリンを使用中の方で、食後の高血糖にお悩みの方や「食事をはじめる15分前に打ちましょう」と医師からアドバイスを受けたが、毎日の食生活の中では難しいと感じられている方へ。是非、おすすめいたします！



商品名「フィアスプ」 2020年2月7日発売
(ノボ ノルディスクファーマ社)



薬価：1918円

有効成分は既存のノボラピッドと同じ。
添加剤の配合によって血糖降下作用が
速く現れる。



薬価：1338
円



薬価：1バイアル 3340
円

商品名「ルムジェブ」 2020年6月17日発売
(日本イーライリリー社)



薬価：1400円

有効成分は既存のヒューマログと同じ。
添加剤の配合によって血糖降下作用が
速く現れる。



薬価：1175円



薬価：1バイアル 2770円

●フィアスプとルムジェブ どちらも注射のタイミングは同じです！

使用法その1 食事開始時に投与する場合は食事開始前の2分以内

良い点 食後の高血糖が抑えられます

悪い点 効果が早いため、早く打ちすぎると食事中に低血糖になる可能性も

使用法その2 食事開始後に投与する場合は食事開始から20分以内に皮下注射

良い点 食前に食べきれぬか悩む時は、食後に使用単位を調節できます

悪い点 従来のインスリンと同程度しか食後血糖を抑えられません

<まとめ>

☆食べたものの内容、食べる速さ、消化速度によって、インスリンの効果発現が血糖上昇に追い付かないことがあります。

例 「食後血糖値が急激に上がるが、次の食前には低血糖寸前まで血糖が下がってしまうので超速効型インスリンが増量できない」という経験がある

例 インスリンポンプを使用中だけど、「急速注入」にしてもインスリンの効果発現が血糖上昇に追いつかなかつたり、「急速注入」にするとポンプ閉塞を起こすことがある

こういった経験のある方にはとくに効果が期待できるかもしれません。

☆「フィアスプ」は2020年12月1日から2週間の処方制限がなくなり長期投与が可能になりました。「ルムジェブ」も2021年6月1日から処方制限がなくなる予定です。